

◆ 最優秀賞



鹿児島県立市来農芸高等学校 ツバキ研究班

「ツバキプロジェクト パートⅡ

アニマルウェルフェアと鶏卵有利販売の確立を目指して」

◆ 優秀賞

(発表順)



熊本県立熊本北高等学校 生物部

「チョウの幼虫、食習慣の米国化！？」

ヤマトシジミの食草の違いによる産卵と成長の比較」

◆ 優秀賞

(発表順)



鹿児島県立国分高等学校 サイエンス部2年（生物班）
「ヤクシマエゾゼミはなぜそこにいるのか
～350kmの隔離分布の謎に迫る～」

◆ 特別賞

☆ (株)愛歯 賞



熊本県立宇土中学校・宇土高等学校 生物研究班

「植物-昆虫間コミュニケーション〜クスノキにおける香り〜」

◆ 特別賞

☆ (株)杉養蜂園賞



東明館高等学校 バイオ同好会

「基山町内から分離・選別した優良酵母の研究および町の特産品開発への応用 (2) 突然変異処理による「基山酵母」の育種改良」

◆ 入賞校

(発表順)

- ▶ 佐賀県立佐賀西高等学校サイエンス部生物班
「アリアケスジシマドジョウの人工繁殖への挑戦」
- ▶ 宮崎県立宮崎北高等学校 科学部
「ハクセンシオマネキの日周期と親愛なる敵効果Ⅱ～雌雄の数とオスの行動～」
- ▶ 広島県立祇園北高等学校 科学研究部生物班
「シダ植物の雑種に関する基礎研究－日本産イノデ属植物を用いた研究－」
- ▶ 大分県立日田高等学校科学部生物班
「絶滅危惧種ミツガシワの謎を追え！～知られざるミツガシワノ生態に迫る～」





研究発表



情報交換会



バイオ甲子園2018大会総評

今日の発表の総評といたしましてまず最初にお伝えしたいのは、皆さん予選を勝ち抜いてきてただけありまして非常に接戦で僅差の戦いでした。その中でも特に最近思うことは、プレゼンテーション能力に長けてきているなというのを感じています。当然この日に向けて練習を重ね、日頃指導をされておられる先生方の叱咤激励の中で練習をし、今日に臨んだものと思います。またそれは日頃の実験、研究、もちろん勉強についてもですが、毎日真摯に取り組んできている賜、それによる自信の裏付けであると感じました。また質疑に対して、日頃どれだけ取り組んでいるのかということもわかるのですが、自信を持って答えている生徒さんは日頃から一所懸命に取り組んできたものと思います。そこで意外な質問が来て、困ったこともあったかと思いますが、それは発表の機会を通して更に勉強して向上していこうという気持ちになったのではないかと思います。

特に、近年ノーベル賞をとられている大先生方が日本の将来の科学技術を危惧されておられます。それは我々大学教員、研究者も同感するところもありますが、今日の皆さんの研究発表を聴きまして、そんなことはない、日本の将来は明るいと感じた次第であります。

特に皆さんの日頃の頑張りとして熱い教育指導をされた先生方に今日は本当にお疲れ様でしたと申し上げたいと思います。これを機会にまたステップアップして頂き、特に高校生の皆さんの今後の発展と、日本の将来を担う人材として成長してくれることを期待しております。

バイオ甲子園2018審査委員長